

## 環境・農水常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成26年7月23日（水）

### 2 調査の概要

#### (1) 水産試験場（彦根市）

水産試験場は、琵琶湖の漁業振興や養魚技術の普及発展を目的に、明治33年（1900年）に設立され、現在は琵琶湖の水産資源の回復を図るため、漁場環境の保全技術や栽培漁業をはじめとする増養殖技術の開発、外来魚の撲滅対策などの試験研究を実施するとともに、魚病の予防・治療技術開発、水産物の有効利用などの研究と指導普及に取り組んでいる。

近年、琵琶湖漁業の漁獲高は2,000トンを下回る状況が続いており、また平成24年にはアユの産卵量が大幅に減少する事象が発生するなど、滋賀の水産業をとりまく状況は厳しい。こうしたことから、当施設の概要と取組状況について調査した。



#### (2) 木材流通センター（東近江市）

滋賀県森林組合連合会木材流通センターは、平成24年に県産材の需給調整機関として整備された。センターでは、木材流通の中間ストックポイントの機能を有するとともに、品質や用途に応じて仕分を行うなど、県産木材を効率的かつ安定的に供給するための役割を担っている。こうしたことから、木材流通センターの現況について現地視察するとともに、木材流通センター職員、また林業に携わる森林組合職員の皆さんと県民参画委員会を実施し、本県における木材の生産、流通や森林資源の現況について意見交換を行った。

